

茨木市議会議員

あびこ浩子

ゆめ・みらい通信



連絡先：（自宅）茨木市穂積台12-503穂積台グランドコーポ

TEL&FAX 072-624-5480

Facebook：安孫子浩子 | WEBサイト：<http://www.hcn.zaq.ne.jp/abiko-h/>

* 中穂積事務所は閉じました。現在自宅が連絡先です。ご迷惑おかけしますが、よろしくお願いいたします。



穂積小 卒業式 感動しました！



春爛漫！

新年度が始動！出会いと別れの春

みなさんに幸せがいっぱいありますように！

みなさま、こんにちは。いつもお世話になっております。安孫子浩子です。

いよいよ2014年度がスタートしました。今年はある間に桜が満開になり、入園・入学・社会人1年生と、人生の節目のスタートに花びらたちがエールを送っているように見えます。

私ごとですが、体調も昨年の夏の暑さが幸いしたのか、足腰の痛みがかなりマシになり、（痛みに鈍感になったのかもしれませんが）じっとしていらなくなっていて、ウロウロできるようになってきました。病院のベッドから一歩も出られなかったことがうそのようです。最近では、暖かい風の中を自転車で颯爽と走りたいというのが夢です。少しだけチャレンジしてみたのですが、坂道がどうなるかまだ自信がなく、信号で止まるにも足をつけて立っているか自信がなく、今しばらくは、自転車のカタログを眺めて楽しんでいようと思っています。

街中で高齢者のみなさんが、杖や押し車で歩いておられたり、駅の階段や店舗の段差で立ち止まっておられる様子をお見かけします。また、コンビニでの量の少ない商品を高齢者の方が買っていかれるお姿もよくお見かけするようになりました。高齢者の「買い物難民」が社会の課題の一つではありますが、身近に店舗展開するコンビニがその支えになりつつあることを実感しております。

消費税があがり、私たちの生活にどう影響するのか、心配ではありますが、私たちの大事な税金が、きちんと社会保障に使われること、そして市町村ごとに取組を考えていく新たなシステムですので、茨木市がどう取組みを進めていくのかを検証し、提案していきたいと思っております。何を提案するのか、それは会議の席の書類の中にはなく、「私たちの日々の生活の中にこそ課題はある」そのことを改めて年度当初に心に刻んでいます。

【あびこ浩子プロフィール】

- ◆玉櫛小・南中卒業／1980大阪府立千里高校卒業／1984関西大学文学部卒業／2008大阪市立大学大学院創造都市研究科共生社会研究分野修士課程修了、大学時代銭原キャンプ場でカウンセラーとして活動
- ◆1984高槻市立第7中学校教諭／1987茨木市立三島中学校へ転任1990退職／2000沢池幼稚園PTA会長／2002穂積小PTA会長／2006茨木市PTA協議会会長／2004NPO法人 Chacha-House 代表理事／2006穂積小校区青少年健全育成運動協議会会長／2006NPO法人子育て広場全国連絡協議会理事／2011穂積地区自主防災会会長／2012穂積地区福祉委員会副委員長
- ◆2008・4茨木市議会議員補欠選挙で初当選／2009・1茨木市議会議員選挙で2期目当選／2013・1選挙3期目当選
- ◆夫、長女、次女、長男の5人家族

2014年3月定例議会報告



沢池幼稚園、卒園式
大きくなりました！



平成26年度市長の施政方針に対する 民主みらい会派よりの代表質問を担当しました。

2014年3月定例会では、市長の施政方針が出され、本年度の施策とそれに伴う予算が議論されました。議会では、まず施政方針に対する各会派からの代表質問が行われます。茨木市議会では会派は6つあり、3月5日、6日の本会議で順番に代表質問が行われました。この順

番は抽選で決まります。私は2日目の6日（木）午前10時から、質問させていただきました。40分間で約60項目にわたって質問しました。その後、市長より答弁をいただきました。ここでは施策の考え方を聞き、詳しい内容は一般質疑や常任委員会でお聞きします。



ひとり親家庭支援・「みなし寡婦控除」の実施を！

一般質疑において、ひとり親家庭への支援として、特に非婚のひとり親家庭への「みなし寡婦控除」適用についてお聞きしました。婚姻届を出していない未婚のひとり親家庭の場合、所得から「寡婦控除」が受けられないので、保育料や市営住宅の家賃などが、婚姻経験があるひとり親家庭に比べ、高い金額を支払うことになっています。未婚に至る経緯は

様々ですが、現状では生活困窮するひとり親家庭が多く、この「みなし寡婦控除」を適用することで、経済的に婚姻経験のあるひとり親家庭と同じ条件になり、経済的に救済されることで子どもの生活を守ることにつながります。大阪市をはじめ、適用を実施している自治体が増えてきており、子どもの生活を支えるという視点から茨木市でもぜひ検討していただきたいと思っております。

〈あびこ浩子の実感〉

- 誰もが安心して暮らせる街、バリアフリーがきちんと守られるまちづくりが大切。(自分が足腰不自由になり痛感)
- 市民力を活かせる茨木のまちの取り組みが必要。
- みんなで知恵と力を出し合える、そんな「まち」だと良い。
- 防災の街づくりには地域での繋がりが欠かせません。

第20号

生活困窮者自立支援事業のモデル事業について

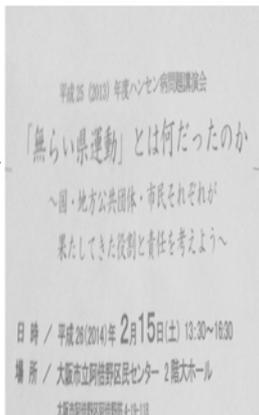
国の制度として「生活困窮者自立支援事業」が平成27年度から、福祉事務所の設置されているすべての自治体で実施することになっております。

茨木市でも、平成27年度からの本格実施を前に、平成26年度でのモデル事業に取り組みます。現在は失業してしまった場合、「社会保険制度」「労働保険制度」での支給期間が終了しても仕事が見つからない場合は「生活保護」を受けるしかなく、近年、生活保護受給者が増大し、扶助費予算が大きなウエイトを占めてきています。そのため「生活保護」に至る前の「第2のセーフティネット」として「生活困窮者自立支援法」が成立し「生活困窮者自立支援事業」が実施されることとなりました。この事業は1. 自立相談支援事業、2. 住宅確保給付金、3. 就労準備支援事業と就労訓練事業（いわゆる「中間的就労」）、4. 家計相談事業、5. 貧困の連鎖防止の

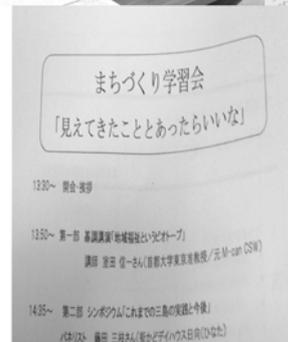
ための学習支援事業、などに取り組むこととなっております。

今年度、茨木市は「学習支援事業」には取り組みません。私は、生活保護家庭や生活困窮する家庭に育つ子どもたちが、再び生活保護に陥っているという道中隆氏（関西国際大学教授）の研究結果などを踏まえると、子どもたちが生まれた家庭によって、その後の社会生活が左右される現状から脱するためにも、「学習支援事業」の重要性を特に感じ、訴えました。

家庭の経済的なしんどさから奨学金を借り、卒業後に多額の奨学金の返済に迫られて生活困窮しているご相談も受けており、この事業によって、少しでも、家庭事情で苦勞し、生活困窮に陥ったり、夢を諦めざるを得ない子どもたちの現状が改善されるようにと切に願っています。



平成25年度ハンセン病問題講演会
「無らい県運動とは何だったのか」



「まちづくり学習会」
室田信一氏(首都大学東京准教授)講演、私はコーディネーターをしました。

高齢者施策の再構築

「街かどデイハウス」が拡大・「いきいき交流広場」募集中です

本年度も施政方針において「高齢者施策の再構築」があげられており、本格的な再構築が進められることとなります。

高齢者の身近な居場所として「街かどデイハウス」を小学校区に展開する第一歩として、昨年度は中学校区に拡大してきたところ、10か所から試行中の6か所を含めて18か所に拡大してきました。多様な団体が運営に手を挙げられて担い手が増えてきたこと、この1年、担当課からの広報があり、立ち上げ支援ありで、

一気に進んでまいりました。また、街かどデイハウスよりも開設時間等が緩やかな「いきいき交流広場」もモデル事業で10か所募集中です。

老人クラブや地域団体の皆様、食事を出す街かどデイハウスの運営には自信はなくても、身近な場所で集まれる場を作っておられる活動を支援する仕組みです。詳細をお問い合わせいただき、活動をしようかなと思われる皆様の応募をお待ちしております。

お互いさまと思える茨木に！
生活者の視点を政治に！



あびこ浩子連絡先

(中穂積事務所は閉めました)

電話&FAX 072(624)5480

Email: abiko-h@hcn.zaq.ne.jp

【自宅】茨木市穂積台12-503穂積台グランドコーポ

HP: <http://www.hcn.zaq.ne.jp/abiko-h/>

facebook「安孫子浩子」お友達申請待ってます



「深めよう地域の絆、高めよう地域の防災力」をテーマに福祉に携わるみなさんの研修会。
社会福祉協議会主催

あびこ浩子市政報告会のご案内

4月25日(金)夜7時から穂積コミセンにて開催予定です。

2014年4月25日(金)午後7時～8時、穂積コミセン和室にて市政報告会を開催いたします。

3月議会報告をいたします。内容としまして、当初予算についてと万博公園の開発状況について、立命館大学建設の現状、JR東口整備の現状などのご報告と一緒に、高齢者施策の取組について

(老人福祉センターの今後、街デイ、いきいき交流広場などについて)担当課からご報告いただく予定です。ぜひお運びください。お待ちしております。



春日丘小校区文化展

子ども子育て会議が開催されています。

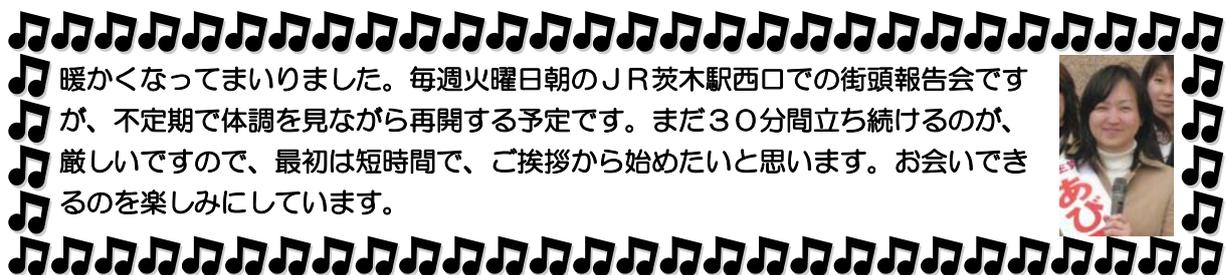
アンケート結果が公表されました。



平成27年から始まります、子ども子育て支援の新しい取り組みに向けて、現在、子ども子育て支援会議が開催されています。ここでは、これまでと違って、子育て当事者の参画のもとに、新たな計画を策定しています。生の声のもとに今後どのように展開していくべきかを話し合っています。

この計画のもとになるアンケート調査が昨年12月に実施され、集計が公表されました。回答は

約50%。この数字が予想通りというべきか、少ないとみるか。この結果をもとに事業計画を作ります。国は仕事と子育ての両立支援をメインに報告を求めています。しかしながら0歳～2歳の70%が在宅で育つ現状に、私も在宅子育て家庭にアンケートのご協力をいただき、在宅家庭への支援についても求めています。皆様のご意見をぜひお寄せくださいませ。



暖かくなってまいりました。毎週火曜日朝のJR茨木駅西口での街頭報告会ですが、不定期で体調を見ながら再開する予定です。まだ30分間立ち続けるのが、厳しいですので、最初は短時間で、ご挨拶から始めたいと思います。お会いできるのを楽しみにしています。